

白頭山にのぼる

栗田 靖之
民博名誉教授

二〇〇九年秋、山仲間が長白山に登ろうということになった。長白山は中国での名前が、朝鮮半島では白頭山といわれている。

長白山は白頭山

九月三日、朝八時、マイクロバスでハルビンを出発し吉林市に向かう。途中の景色は広大なトウモロコシ畑のあいだに水田が点在している。農家の屋根を見ると、その農家の人が何族であるかがわかるらしい。漢族の農家の屋根には独特の反りがある。それに対して朝鮮族の屋根は直線で、それに加えてかならずオンドルの煙突があるという。その目で周りの農家を見てみると、大半が朝鮮族の農家であることがわかる。

吉林市、安図を経て六〇〇キロメートルを走り、午後七時ごろようやく二道白河に到着した。六九年、梅棹忠夫さんが来たころには、守備隊の丸太小屋と民家が二軒あっただけというが、現在は人口六万人の大きな町である。

二三日、朝六時に出発。一時間ほど走って一般の自動車が行き止まりになっている最終地点まで行く。そこからバスに乗り換える。周りのシラカバは、すでに黄色く色づき始めている。三〇分ほどでまた自動車を乗り換える。これから先は急坂を上るため、四輪駆動車に七人から八人ずつが相乗りする。もうこの辺りは森林限界をこえている。二〇分ほど走ると、頂上から標高にして二〇〇メートルほど下にある駐車場に到着した。昨日は水点下になったというが、いま手もとの温度計では四度である。

駐車場からの登山道には、昨夜の雪がところどころに残っている。天気はこのうえない晴天である。ワンピッチの登りで稜線に出る。ここが二六七〇メートルの天文峰とよばれる頂きである。周りは四、五の火山性の切り立った岩峰があり、その岩峰の急斜面を五〇〇メートルほど下ったところに、ほぼ円形の天池が満々と青い水をたたえている。

祖先が天から舞い降りた

この神秘的な光景を見ると、白頭山は朝鮮族にとっては、この頂きに祖先が天から舞い降りたという建国神話の地であり、満族にとっても清朝始祖誕生の聖地で、長く立ち入ることの出来ない土地であった理由がわかる気がする。

一九六二年の中朝国境条約によって、中国と北朝鮮の国境が天池の真ん中を東西に通っている。南の方向、北朝鮮側には最高点の將軍峰（二七五〇メートル）が見える。

振り返って北方に目を移すと、そこは見渡す限りの樹海である。この辺り一帯は中国で唯一、豊富な原生林が残っている地域である。またこの原生林は、かつては金日成が反日ゲリラ活動をした本拠地でもあった。この原生林は、まさに朝鮮民主主義人民共和国の揺籃の地でもある。帰りには天池から流れ出した豊かな水が、七〇メートルの滝となって流れ落ちる長白瀑布を見ることができた。

高句麗の古都

われわれはその日のうちに、四〇〇キロメートルの道を作り、鴨緑江のほとりにある集安の町まで行った。高句麗は、広開土王のときに、諸族を制圧して中国東北地方の大半に支配を及ぼす版図を獲得した。また新羅・百済に進攻していた倭とも接触した。四一四年にこの王の戦績をあらわしたのが広開土王碑である。この碑の存在は一八八〇年までは知られることが無かった。それはこの地方が柳の木で囲われた何人も立ち入ることの出来ない禁断の地であったからである。現在のこの碑は、周囲をガラスで覆われた建物に保管されている。

この集安には、二〇九年、高句麗が王都とさだめた国内城や丸都山城などがあり、四二七年、都を平壤に移すまでは、ここが高句麗の中心地であった。これらを見学した後、清朝が最初に都をおいた瀋陽を経て帰国した。

頂上で万歳

朝鮮半島の研究を専門とする民博の朝倉敏夫さんと話をする機会があった。およそ二〇〇万人いるといわれている朝鮮族の問題は、チベットや新疆ウイグルの民族問題と同じように、中国でセンシティブらしい。朝鮮族は東北地区だけに限らず、最近では上海にまで進出している。彼らは韓国人のびとも関係を持ち、たいへん大きな商売をしている金持ちも多いということだ。それがチベットや新疆ウイグルの民族問題との大きな違いといえる。

しかも中国東北には、朝鮮半島の古代史を考えるうえで重要な高句麗や渤海の存在がある。高句麗は鴨緑江の北側、集安を中心として国をおこし、平壤に都を移した。だから朝鮮半島の人びとは、鴨緑江北岸こそわが民族発祥の領土と主張できる。一方、中国から見ると、朝鮮半島は、中国東北部に起こったツングース族の末裔が建国した高句麗の子孫であり、高句麗は中国の地方政権のひとつであると主張する。現在でもこの論争が続いている。少し前までは、韓国人のびとが中国側から長白山に登り、民族発祥の地として頂上で万歳をしていたという話である。

この旅では、満族と朝鮮族のあいだにある歴史的、地理的な深い関係を身近に感じることができた。



高句麗の旧都、丸都山城の遺跡
(撮影・寺本 巖)



白頭山の頂上にある天池。
神秘的な水をたたえている



天池から流れ出た水が、長白瀑布となって
流れ落ちる (撮影・寺本 巖)



自動車の最終到達地点に
ある測候所